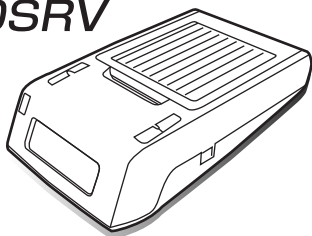


BF-410SRV



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

●ご使用上の注意	2~3	●警察/消防ヘリテレ無線警報	22
●各部の名称	4~5	●新救急無線警報	23
●ご使用にあたって	6~7	●消防無線警報	23
●取付け方法	8~9	●レッカー無線警報	23
●操作方法		●JH無線警報	24
●電源スイッチを入れる	10	●パトロールエリア警報	24
●オートパワーOFF機能	10	●機能	
●テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能	11	●時計表示機能（設定方法）	25~26
●各機能のON/OFF設定	12~13	●おまかせ機能	27
●レーダー受信感度の設定（ASC-V）	14~15	●反転表示機能	28
●ミュート表示（機能）について	15	●オートボリュームダウン機能	28
●振動センサーの設定（LSC-V）	16	●オートディマー機能	28
●警報について（レーダー）	17	●データリセット機能	29
●警報について（無線）		●ディスプレイモード機能	29
●無線受信機能について	18	●パス機能	30
●カーロケ受信警報	19	●取締りの種類	31~32
●350.1MHz警報（取締用連絡無線）	20	●その他	
●デジタル無線警報	20	●故障かな？と思ったら	33
●署活系無線警報	21	●製品仕様	33
●ワイド無線警報	21	●さくいん	34
●取締特小無線警報	22	●保証規定	35

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。



警告 : 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。



注意 : 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の受信機能は仕様書に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステムで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信する事があります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信する事がありますが、誤動作ではありません。予めご了承下さい。（自動ドア・防犯センサー・車輛通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダの一部。）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部のミラー式フィルム装着車の場合、レーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付け下さい。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用下さい。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承下さい。
- 本製品はDC12V車専用です。（DC24V車へのお取付はできません。）
- キーをOFFにした時、シガープラグの電圧が0Vにならない車輛（外車など）は車輛バッテリー保護する為、エンジンを始動していない時は、必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションのSS-063電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続して下さい。
- 本製品はレーダー探知機として設計されている為、電波時計の電波受信機能は市販の電波時計より電波受信感度は良くありません。市販の電波時計で受信した場合でも本製品で受信しない場合があります。ご了承下さい。

※本製品を取付けての違法行為（速度違反等）に関しては、製品動作の有無に関わらず弊社では一切の責任を負いかねます。

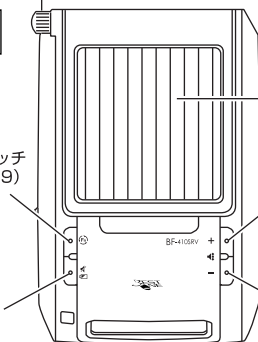
各部の名称 (製品本体)

パネル調整ネジ (P9)

上面

Fn 「ファンクション」スイッチ
(P12.14.16.25.27.29)

⚡ 「T/M/B」スイッチ
(P11.15.25.29.30)

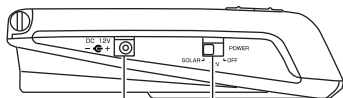


ソーラーパネル

+ 「アップ」スイッチ
(P11.25.29)

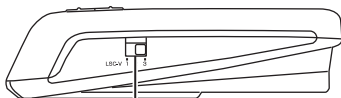
- 「ダウン」スイッチ
(11.28.29)

側面



電源ジャック
(P6)

電源スイッチ
(P10)



LSC-Vスイッチ
(P16)

正面



電源ランプ

表示部

※取扱説明書内のイラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。

●液晶表示

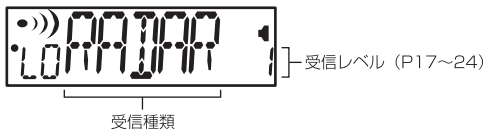
■待機表示



○反転表示の場合 (P28)



■警報表示 ※例：レーダー警報



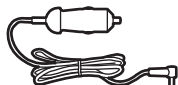
●梱包内容



ステー (1個)



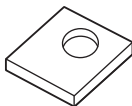
ステー止めネジ (1個)



シガープラグコード (1個)



両面テープ (1枚)



バイザークッションシート (1個)



平ワッシャー (1個)



サンバイザーステー (1個)

ご使用にあたって

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

- 本製品は、工場出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**本製品の電源オフの状態**で**エンジンをかけて4時間以上充電してください**。(充電は断続的に行う事も可能ですが、その場合、目安として8時間以上充電してください)
 - 通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただし下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。
- 1.屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
 - 2.冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
 - 3.高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
 - 4.夜間走行の頻度が多い。
 - 5.全ての機能をONにした状態で長時間使用する。
- 車輛のシガープラグ接続で充電が困難な場合（長いエンジン始動ができない場合など）弊社オプションのSS-065 AC100V専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

ローバッテリーサイン

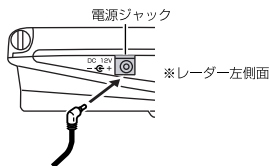
- ローバッテリーサインとは・・・
内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、表示とアナウンスでお知らせします。

液晶表示	アナウンス
LOW-BT	ブーピー バッテリーチェック 充電を行ってください。

※使用状況によって突然、全機能を停止する場合があります。

充電の方法

- 1** 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- 2** 車輛シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。
- 3** 車輛のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作

- 本製品はソーラーバッテリー動作時は長時間動作するよう、またシガープラグコード接続時はより安定動作できるように設計されております。ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作で下記機能が変わります。

電源の使用状態		12V連動モード使用时	ソーラーモード使用时
電源ランプ		点灯	点滅
無線警報	カーロケ (P19) 350.1MHz (P20) デジタル (P20) 署活系 (P21) ワイド (P21) 取締特小 (P22)	警報する	警報する
	警察/消防ヘリテレ (P22) 新救急 (P23) 消防 (P23) レッカー (23) JH (P24)	警報する	警報しない
液晶バックライト		常に青点灯 警報時は橙点灯	待機時は消灯 ボタン操作時は一定時間青点灯 警報時は橙点灯

液晶表示画面について

- 液晶表示部は周囲の温度が約75℃以上になると液晶表示画面の表示部分が黒くなったり、約-10℃以下になると表示する文字が遅れて表示したり、表示した文字が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶パネルの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶パネルの安定動作する温度になると元の状態にもどります。

※上記の状態で液晶表示されていない場合でもその他の機能は正常に作動します。

・液晶バックライトは青と橙の2色です。

取付け方法

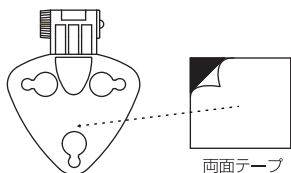
取付けの前に

- ・フロントガラス上部のスモーク・ブロンズ処理部付近へのお取付けは、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

⚠ 警告 エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

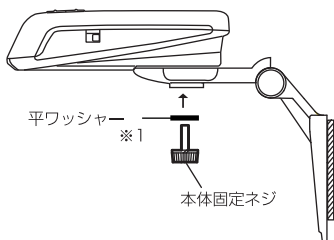
ダッシュボードへの取付け方法

- 1** ステアに両面テープを取付けます。



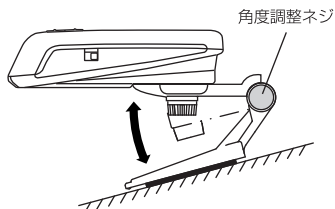
※取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

- 2** レーダー受信機本体をステアに取付け、本体固定ビスに平ワッシャーを入れて回し締めます。



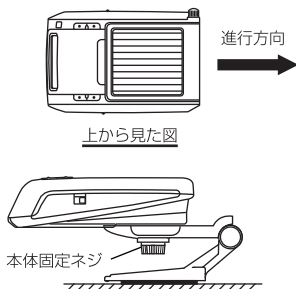
※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきますご注意ください。

- 3** ダッシュボード上に固定します。レーダー受信機が地面と平行になるように角度調整後、角度調整ネジを手でしっかり締めます。



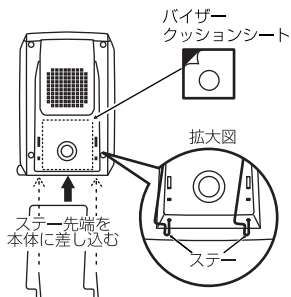
※取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くように、調整した後、本体固定ネジを手でしっかり締めます。

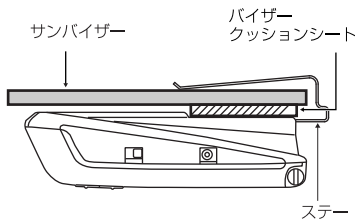


サンバイザーへの取付け方法

- 1** バイザークッションシートの剥離紙をめくり、本体ケース裏の下図点線部に貼付け本体にバイザーステーを差し込みます。

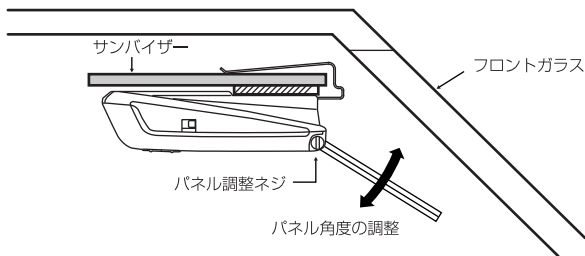


- 2** 下記図のようにサンバイザーに本体を取付け固定します。



※必ず走行中でも外れないように固定して下さい。

- 3** パネル調整ネジを軽く緩めて、ソーラーパネルの角度を調整後、確実にパネル調整ネジを締め付けます。



注意・極端にパネル調整ネジを締めると本体またはネジが破損する恐れがあります。ご注意ください

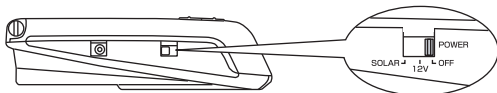
・スピーカーが本体裏面にある為、サンバイザーに取付けを行った場合、操作音、警報音等が聞こえにくくなる場合があります。ご了承下さい。



操作方法

電源スイッチを入れる

- 本製品はシガーコード電源を使用する【12V連動モード】とソーラー電源を使用する【ソーラーモード】を電源スイッチで設定します。

- 1 本製品の電源スイッチを【12V】又は【SOLAR】（下図）のいずれかに合わせます。



スイッチ位置	モード	使用状態
OFF	——	機能OFF: シガーコードを接続してエンジン始動状態で本体を充電できます。
 [12V]	12V連動モード	シガーコードを接続して使用する場合 シガープラグ電源と連動する為、エンジン始動時に本体がONし、エンジン停止時に本体の電源がOFFします。
 [SOLAR]	ソーラーモード	ソーラーのみ（シガー配線しない）で使用する場合 ソーラー充電による充電電池を使用して作動します。車の振動を検出して、振動がある場合は本体をONし、振動がなくなると少し時間がたつてから本体をOFFします。 ※充電する場合はシガーコード接続が必要になります。又、接続した状態でも本体を使用することができます。

※エンジンを停止してもシガープラグに電圧が12Vある車（一部外車など）は必ずシガーコードを配線する場合オプショソンのSS-063「電源配線ユニット」を使用して下さい。

- 2 本体から音が鳴り、電源ランプがついて液晶画面が表示します。

電源ランプ



- 電源ランプの光りかた ※音が鳴った後にランプが変化します。

シガープラグコードから電源使用の場合

本機の電源ランプが**点灯**します。

ソーラーから電源使用の場合（シガープラグコード非接続）

本機の電源ランプが**点滅**します。

オートパワーOFF機能

- 車輪振動を検出しエンジン停止で駐車時等、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源がOFFします。

※車輪によって停車時の振動が違う為、電源オフする時間が変わります。LSC-V（P16）で調整を行って下さい。

- オートパワーOFF状態の時、エンジン始動や、走行振動を検出した場合、自動的に本製品の電源がONします。

※振動や騒音の激しい場所に駐車している場合は、本製品が振動を検知して電源がOFFしない場合があります。その場合、電源スイッチで電源をOFFしてください。

※車種によっては、走行中でも低速走行時や停車時に振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合は、オートパワーOFF機能が働きます。

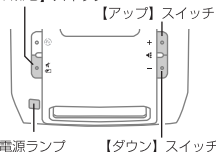
テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能

●テスト機能、音量調整、バッテリーチェック機能とは

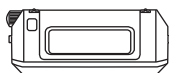
本製品がどのような音量で警告をするのかを確認できるテスト機能と、バッテリー状態を確認するバッテリーチェック機能です。

【T/M/B】スイッチ

○テスト機能を使用する

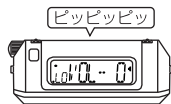


電源スイッチをONにして電源ランプの点灯、又は点滅を確認してから【T/M/B】スイッチを押すと本体からテスト音が鳴ります。



○音量を調整する

【アップ】スイッチ、【ダウン】スイッチで12段階（0～11）の音量調整ができます。液晶表示部を確認しながら適度の音量に調整して下さい。※操作音の音量は変化しません。



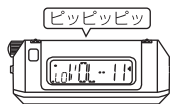
【ダウン】スイッチで音量が小さくなります。

※音量を最小にすると消音になります。

音量小

ビッ、ビッ・・・
12段階（0～11）
調整できます

音量大



【アップ】スイッチで音量が大きくなります。

○バッテリー状態をチェックする

電源スイッチをONにして電源ランプの点滅を確認してから【T/M/B】スイッチを長押しします。

内蔵バッテリー状態	アナウンス	液晶表示
充電良好です。	バッテリーは十分です	B-FULL
	「バッテリーは60%です」	B- 60
充電をお勧めします。	「バッテリーは40%です」	B- 40
充電が必要です。	「バッテリーは20%です」	B- 20

○電源ランプ点灯時（シガーコード接続時）した状態で バッテリーチェックを行うとレーダー本体から「ブー」と音が鳴り下記表示がされます。

dc-USE

バッテリーチェックはできません。

操作方法

※工場出荷時、データリセット（P29）時、おまかせ機能はマニュアルモード（P27）です。各設定内容はオールONモードの内容になります。

各機能のON/OFF設定 ※マニュアルモード（P27）のみ設定できます

●各機能のON/OFF設定ができます。各機能は音声アナウンスにてお知らせします。

設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

【ファンクション】スイッチ



○設定中の表示画面 ※例：カーロケ



設定内容

設定項目

1 【ファンクション】スイッチを長押しします。



例：デジタル無線設定の場合

設定モードです。
ビッピッ カーロケ無線の設定
です。現在○○※です

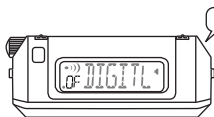
※ ○○には現在の設定内容をアナウンスします。

2 【ファンクション】スイッチを長押しする毎に右記（P13）の順にモードが切替ります。



ビッピッ デジタル無線の設定
です。現在、オフ 設定です。

3 設定したいモードが表示、アナウンスされたら【ファンクション】スイッチを短押しする毎に詳細機能が切替りますので、詳細機能の設定を行います。



オフです。



オンです。

※設定する項目によって表示は異なります。

4 設定を続ける場合は 2 へ、終了する場合は設定終了まで【ファンクション】スイッチの長押しを繰り返すか又は何もスイッチを押さないと約30秒後、自動的に待機モードに切替ります。

◇設定モードはカーロケ設定から始まります。

○カーロケ無線 (P19)

CAR-LO 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○350.1MHz無線 (P20)

350.1 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○デジタル無線 (P20)

DIGITL 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○署活系無線 (P21)

SHOWAT 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○ワイド無線 (P21)

WIDE 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○取締特小無線 (P22)

TOKUSH 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○警察/消防ヘリテレ無線 (P22)

HELI 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○新救急無線 (P23)

AMBULA 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○消防無線 (P23)

SHOUBO 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○レッカー無線 (P23)

WAECKE 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○JH無線 (P24)

JH 設定項目

ON: 設定ON
OF: 設定OFF

○ASC機能 レーダー受信感度 (P14/15)

ASC 設定項目

AT: 受信感度自動設定
LO: (マニュアル) ロー感度
HI: (マニュアル) ハイ感度
SH: (マニュアル) スーパーハイ感度
HY: (マニュアル) ハイパー感度

○LSC機能 振動センサー (P16)

LSC 設定項目

OF: 停車時でも警報を行います。
ON: 停車時にレーダー警報音のみを自動で消音します。
※無線警報音 (12バンド) は消音しません。
AL: 停車時に全ての警報音を消音します。

○アラーム警報音

ALARM 設定項目

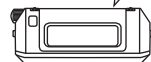
BZ: 警報音をブザーで鳴らします。
ML: 警報音をメロディで鳴らします。
※メロディ音は「踊る大捜査線」
テーマ曲 (Rhythm & Police) です。

◇設定、待機画面時、アラーム設定内容を確認することができます。



○設定モード終了

設定終了します。





操作方法

レーダー受信感度の設定 (ASC-V)

●ASC-V機能とは

車の走行状況（振動を検出して）などによってレーダーの受信する感度を自動的に調整したり、マニュアル設定で受信感度を固定することもできます。感度を自動設定することにより高速走行中はレーダー感度を上げて警報しやすくし、低速走行中（渋滞など）はレーダー感度を下げて警報を鳴りにくくします。

- 本製品には、レーダー受信感度をHYPER（ハイパー）、S-HI（スーパーハイ）、HI（ハイ）、LOW（ロー）の4段階に手動設定するマニュアル設定機能と、走行状況に応じて適切な受信感度を自動設定するASC機能（オート・センシティブ・コントロールの略称）を設定することができます。（各感度の警報タイミングにつきましてはP17「レーダー機能による警報」をご覧ください。）

設定	状態	
	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
AT 自動設定	受信感度LOW（ロー）	HI（ハイ）→S-HI（スーパーハイ）→HYPER（ハイパー）に受信感度変化
マニュアル設定 HYP（ハイパー）の場合	HYPER（ハイパー）感度のまま固定	

設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

P12/13の設定モードでASC機能設定に合わせ【ファンクション】スイッチ短押し毎に「AT」オート、「LO」ロー、「HI」ハイ、「SH」スーパーハイ、「HY」ハイパーの順に変化します。設定したい項目を選んで設定します。



【ファンクション】スイッチ短押し毎に変化します。

◇設定時、待機画面時にASC-Vの自動設定かマニュアル設定を液晶表示で確認することができます。

自動(AT)設定時は[A]の場所に《●》が表示されます。



マニュアル設定時は[M]の場所に《●》が表示されます。



○マニュアルに設定にした場合 (LOW/HI/S-HI/HYP選択時)

下記表を参照し最適な受信感度を設定して下さい

受信感度	適切な走行場所	走行状態	待機時液晶画面表示 (P5)
LOW (ロー)	市街地	低速走行	LO
HI (ハイ)	郊外地	中速走行	HI
S-HI (スーパーハイ)	郊外地・高速道路	中・高速走行	SH
HYPER (ハイパー)	高速道路	高速走行	HY

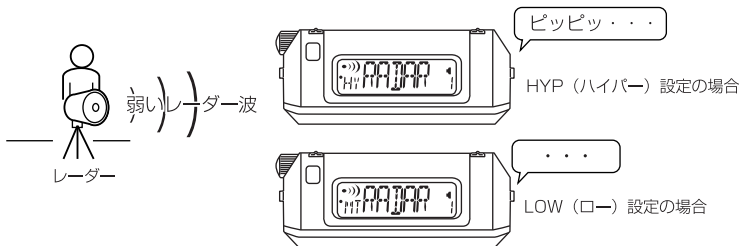
※出荷時はASC-Vはオート (P15) 設定です。

○オートに設定した場合（AT選択時）

走行中の速度変化による車輛振動を検出し、適切なレーダー受信感度を自動設定します。

⚠ レーダー警報が鳴らない？

受信したレーダー波が弱いと、レーダー感度設定によっては警報表示はしますが警報音が鳴らない場合があります。



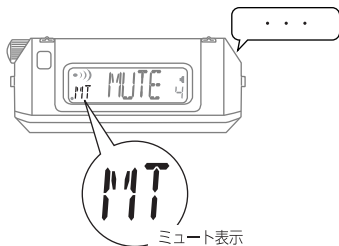
※警報が鳴っていない時は下記ミュート表示が出ます。

ミュート表示（機能）について

●ミュート表示について

警報中に【T/M/B】スイッチ操作やASC-V、LSC-V機能が作動中など警報が鳴らない表示としてミュート表示されミュート表示中は警報を行いません。スイッチ操作によるミュート状態は、その時受信している電波がなくなり、待機画面に戻るとミュートが解除されます。

【T/M/B】スイッチ



※【T/M/B】スイッチ操作でレーダー本体から「ミュートします」とアナウンスしミュートされます。もう一度押すと「ミュート解除しました」とアナウンスし解除されます。

◇スイッチ操作以外にASC-V、LSC-V機能での警報キャンセル時に表示されミュートします。ミュート中でも警報表示は行います。

操作方法

振動センサーの設定 (LSC-V)

●LSC-V機能とは

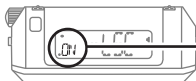
ロー・スピード・キャンセルの略称です。車が駐・停車時と走行時の振動差を検出して警報音をカットする機能です。

設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

○停車時でも警報を鳴らす設定を行います。

P12/13の設定モードでASC機能設定に合わせ【ファンクション】スイッチ短押し毎に「OF」オフ、「ON」オン、「AL」オールオンの順に変化します。設定したい項目を選んで設定します。



【ファンクション】スイッチ短押し毎に変化します。

設定	警報
OF	停車中でも警報を行います。
ON	停車中でも無線警報 (12バンド) のみ行います。
AL	停車中は警報を行いません。走行中のみ警報を行います。

調整方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点滅している状態 (ソーラーモード) で設定を行って下さい。シガーコードを接続して使用している時は外してから調整を行って下さい。

○停車時か走行時かを確認する為のセンサー (振動) 調整を行います。

アイドリング状態 (駐・停車時) で電源ランプが早い3回点滅 走行状態で、1回点滅 するよう下記表を参照し車輛にあった状態にLSC-Vスイッチを設定して下さい。



LSCスイッチ	振動検出感度	車輛タイプ (目安)
1	低	ディーゼル (振動の大きい車輛)
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン (振動の小さい車輛)

○LSC ON 又はオールON設定時

状態	電源ランプ	LSCマーク	警報
停車中	早い3回点滅	●	しない
走行中	1回点滅	●))	する

○LSC OFF 設定時

状態	電源ランプ	LSCマーク	警報
停車中	早い3回点滅	●))	する
走行中	1回点滅		

※オートパワーオフ (P10) 時は全てのランプは消灯します。警報を行っていない時はミュート表示 (P15) されます。

⚠ 注意

車輛振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC機能が正常に働かない事があります。本製品の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

警報について (レーダー)

レーダー機能による警報

●レーダー式取締り機に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)			
受信レベル表示 (P5)		1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4	
アラーム音	受信感度 (表示)	LOW LO	アラーム/メロディーが鳴らない
	HI HI	*ミュート [MT] (P15) が表示されます。	アラーム/メロディーが鳴る
	S-HI SH	.MT	
	HYP HY		
ステップアラームの タイミング			
アラーム音			
メロディーの場合は、 テンポは変わりません			
ステルス波 受信		液晶 表示	
		警報音	<p>ビッピッピッ... アラーム音が鳴ります。</p> <p>*メロディ設定の場合はテンポ は変わらず警報を行います。</p>

注意！
レーダー警報中でも警報（カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察/消防ヘリテレ、取締り特小、レッカー、新救急、消防、JH）を優先します。

警報について（無線）

無線受信機能について

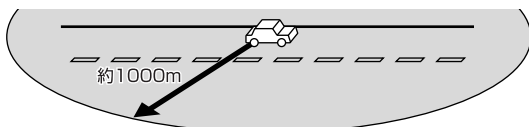
- 受信する電波により受信範囲が異なります。また無線受信を行う場合、内蔵バッテリーの消費電力が増加するためシガープラグコード接続でのご使用をお勧めします。

注意.放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合はデジタル無線の受信をずる場合があります。

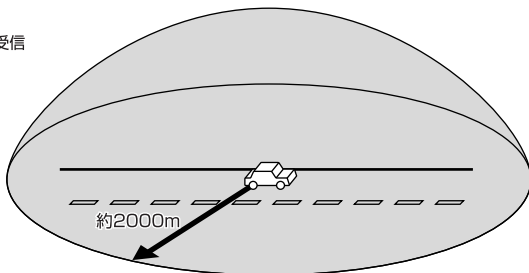
○受信距離

設定	受信種類	受信距離
OFF	警報は行いません	
ON	カーロケーター、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH無線	約1000m
	警察/消防ヘリテレ無線	約2000m

◇カーロケーター/350.1MHz/デジタル/署活系/ワイド/取締特小/レッカー/新救急/消防/JH無線



◇ヘリテレ無線受信

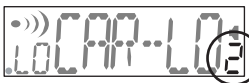


注・受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

○受信する電波の強さによってレベルが表示されます。（1：弱い電波～4：強い電波）

※例：カーロケの場合



・受信電波の強さによってレベルメーターが4段階に変化します。

—レベルメーター—

- 1 弱い電波（遠い）を受信
 - 2
 - 3
 - 4 強い電波（近い）を受信
-

カーロケ受信警報

●カーロケーターシステムとは

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーターシステムを装備しています。

本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- (注) ・一部地域または、一部緊急車両には、カー・ロケーター・システムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
 ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
 ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
 ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
 ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
 ・本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

●カーロケ電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	受信 レベル	液晶表示内容
◇遠いカーロケ電波を受信した場合 「ビビビッ カーロケ無線を受信しました。」	1~2	[[CAR-LO2]]
◇近いカーロケ電波を受信した場合 「ビビビッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車両にご注意下さい。」	3~4	[[CAR-LO4]] ↙ [[CHUI 4]]
◇接近するカーロケ電波を受信した場合 「ビビビッ カーロケ無線を受信しました 緊急車両の接近にご注意下さい。」	1~4	[[CAR-LO1]] ↙ [[SENKIN1]]
◇カーロケ電波を受信し、その後カーロケ電波 を回避した場合 「ビビビッ カーロケ無線を回避しました。」	非表示	[[CAR-LO1]] ↙ [[KAIHI 1]]

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

警報について（無線）

350.1MHz警報（取締用連絡無線）

●取締用連絡無線（350.1MHz）とは

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 350.1無線を受信しました。ご注意ください。 ～通話音声（デジタル信号はノイズ）～	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。
詳しくは、P12/13参照。

デジタル無線警報

●デジタル無線とは

各警察本部と移動局（緊急車輛等）が行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、音声と、表示で警報を行い付近を走行する緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

●デジタル無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇デジタル無線受信状況 「ボイス内容」	受信レベル	液晶表示内容
◇遠いデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ デジタル無線を受信しました。」	1～2	
◇近いデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのデジタル無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	3～4	
◇接近するデジタル電波を受信した場合 「ピピピッ デジタル無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。
詳しくは、P12/13参照。

署活系無線警報

●署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約134chの電波を受信します。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 署活系無線を受信しました ご注意ください。	1~4	




※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。
詳しくは、P12/13参照。

ワイド無線警報

●ワイド無線とは

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336~338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）とも言います。

●ワイド無線受信電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇ワイド無線受信状況 「ボイス内容」	受信レベル	液晶表示内容
◇遠いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました。」	1~2	
◇近いワイド電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのワイド無線を受信しました 緊急車輛にご注意下さい。」	3~4	
◇接近するワイド電波を受信した場合 「ピピピッ ワイド無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意下さい。」	1~4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。
詳しくは、P12/13参照。

警報について（無線）

取締特小無線警報

●取締特小無線とは

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通350.1MHz無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 特小無線を受信しました ご注意ください。	1~4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

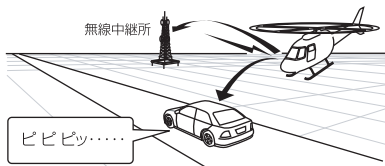
警察/消防ヘリテレ無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

●警察/消防ヘリテレ無線とは



「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



(注)

- ・一部地域または、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
- ・ヘリテレ無線はヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- ・送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。（警察ヘリテレのみ）

受信種類	ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
警察ヘリテレ	ピピピッ ヘリテレ無線を受信しました ご注意ください。 ～通話音声～	1~4	
消防ヘリテレ			

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

・消防ヘリテレ、警察ヘリテレは、別々で設定できません。

警報について（無線）

新救急無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

●新救急無線とは

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 新救急無線を受信しました ～通話音声～	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

消防無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

●消防無線とは

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 消防無線を受信しました ～通話音声～	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。


レッカー無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

●レッカー無線とは

一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ レッカー無線を受信しました ～通話音声～	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

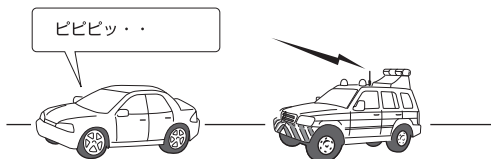
警報について（無線）

JH無線警報

※シガーコード接続時のみ作動する機能です。

●JH無線とは

東日本、中日本、西日本の高速道路（株）が主に使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車輛と本部との連絡に使用します。



ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ JH無線を受信しました。 ～通話音声～	1～4	

※使用条件に合わせてON/OFF設定することができます。詳しくは、P12/13参照。

パトロールエリア警報（パトロールエリアinfo）

●パトロールエリアとは

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。
※必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ パトロールエリアです ご注意ください。	4	

・パトロールエリア受信の設定や受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小無線の内2つ以上の設定がONになっていないとパトロールエリア警報は行いません。

時計表示機能

●時計表示するには

リーダーの待機表示部はロゴ表示、時計表示に切り替えることができます。

設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

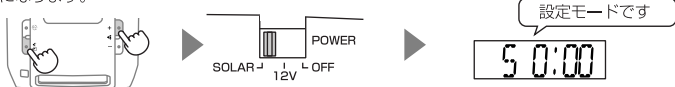
【アップ】スイッチを**長押し**する毎に時計表示、ロゴ表示に切り替わります。



●時刻を合わせるには

※設定中でもスイッチ操作が約1分間ないと設定モードは終了します。

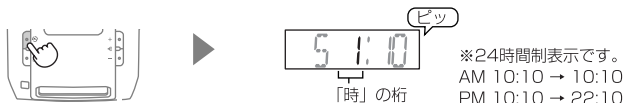
1 【T/M/B】と【アップ】スイッチを**押しながら**、電源スイッチONにします。時計のセットモードになります。



2 【アップ】スイッチを押す毎に「分」の桁が上がります。設定したい時刻で止めます。



3 【ファンクション】スイッチを押す毎に「時」の桁が上がります。設定したい時刻で止めます。



4 設定を終了するには【T/M/B】スイッチを押すとアナウンスして終了します。



※セット中に約1分間スイッチ操作がないと自動的に設定モードが終了します。その場合、途中まで合わせた時刻は設定されませんので必ず【T/M/B】スイッチを押して終了してください。



時計機能は本体電源スイッチをOFF (P10) 又は本体バッテリー残量の低下で時計機能がリセット (0:00) されます。時計機能を使用する際は電源スイッチをOFFにせず、シガーコード接続によるご使用をお勧めします。

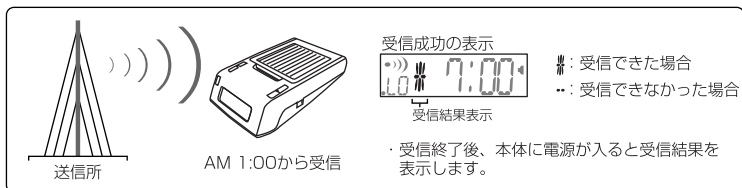
※オートパワーOFF (P10) による本体電源のOFFでは時計はリセットされません。

機能

時計機能

●電波時計機能について

本製品には電波時計機能を内蔵しています。時刻合わせ（P25）した後、AM1:00/2:00/3:00の1日3回、1回で約2～10分間、自動的に電波受信を行い本製品の内蔵時計の時刻を修正します。



※電波の受信表示は次に電波受信を行うまで電源をOFFにしないかぎり表示は変更しません。



自動補正中（時刻電波受信中）液晶表示部は何も表示せず、電源ランプが点灯または点滅を行います。その間レーダーの電源はONになりません。自動補正が終了（約2～10分）するまでお待ちください。

○正しく受信する為に

正確な電波を受信するには、電波の受信しやすい場所に取付けし車を駐車車させて下さい。また以下のような場所、状態では電波の受信はできません。

- ・マンションやビルなどの谷間など
- ・高圧線、架線の近く
- ・本製品の使用中、操作中、又は車の移動中
- ・電波障害の起きる場所（工事現場、空港、交通量の多い場所）
- ・電波の受信範囲以外の場所

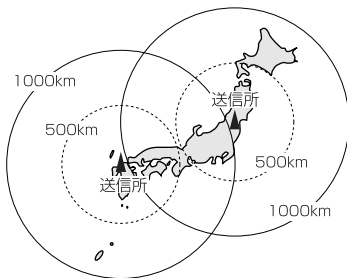
などその他の原因で受信できない場合もあります。

○電波時計とは・・・

正確な時刻情報（日本標準時）をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

○電波受信について

本製品は「おおたかどや山標準電波送信所」（40KHz）と「はがね山標準電波送信所」（60KHz）の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います。条件の良い時は、送信所から約1000km離れた場所でも受信できる可能性があります。基本的には500km越えると電波が弱くなりますので受信しにくくなる場合があります。



※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）などによって受信できないことがあります。また電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

おまかせ機能

※工場出荷時、データリセット（P29）時、おまかせ機能はマニュアルモードです。各設定内容はオールONモードの内容になります。

●おまかせ機能とは

1つのボタン操作ですべての設定を変更できる機能です。3種類の中から選んで設定できます。

おまかせモード・・・一般的によく使用する機能のみONにします。

オールONモード・・・全ての設定をONに設定します。

マニュアルモード・・・P12/13で選んだ設定になります。

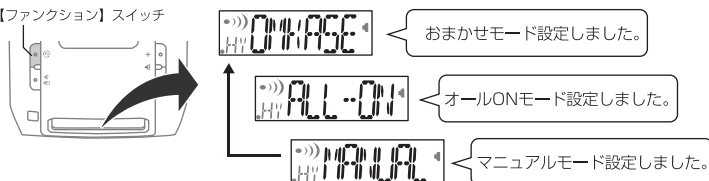
※おまかせモード、オールONモードの時はP12/13の各設定はできません。

設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

【ファンクション】スイッチを押す毎に **おまかせモード→オールONモード→マニュアルモード**の順に設定されます。

【ファンクション】スイッチ



◇モード設定で下記表の設定になります

	機能	おまかせモード	オールオンモード	マニュアルモード
無線 警報	カーロケ	ON	ON	P12/13の設定になります。オールリセット、工場出荷状態時の内容はオールオンモードの内容になります。
	350.1MHz			
	デジタル			
	署活系			
	ワイド	OFF		
	取締特小	ON		
	警察/消防ヘリテレ	OFF		
	新救急			
	消防			
	レッカー			
JH				
その他	ASC機能	AT (オート)	AT (オート)	
	LSC機能	ON	ON	
	アラーム音	ブザー	ブザー	

※おまかせモード、オールオンモードの設定中はP12/13の設定モード操作しても操作できずにリーダー本体から「ブー」と音が鳴ります。

・おまかせ機能設定を行ってもシガーコード接続で電源を取っていない場合、作動しない機能があります。

・工場出荷状態はマニュアルモードです。

機能

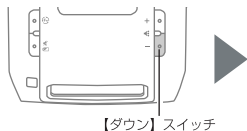
反転表示機能

- サンバイザーに本製品を取付ける場合、表示部を反転させて表示し使用することができます。

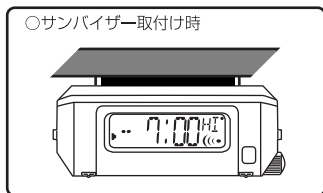
設定方法

※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

【ダウン】スイッチを**長押し**する毎に通常表示、反転表示に切り替わります。



【ダウン】スイッチを**長押し**する毎に
表示が切り替わります。



オートボリュームダウン機能

- 本機がレーダー受信警報してから約15秒後に、警報音を自動でボリュームをダウンします。一度警報が解除されると元の警報音に戻ります。

オートディマー機能

- 時計（時刻）情報と太陽光の強弱によって自動的に電源ランプ、表示部バックライトの明るさを調整します。

○時間による調整

オートディマー作動時刻は20:00~5:00です。

○明るさによる調整

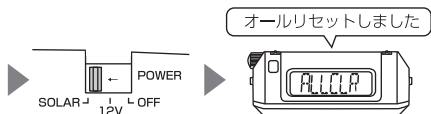
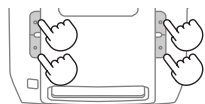
ソーラーパネルの発電量を利用して、明るさを調整します。

データリセット機能

- 設定データをリセット（初期化）し、工場出荷時の状態に戻します。

リセット方法 ※電源スイッチ(P10)を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

【ファンクション】、【T/M/B】、【アップ】、【ダウン】スイッチ全て押しながら電源スイッチをONにします。「オールリセットしました」とアナウンスすれば完了です。



①4個のスイッチを押しながら

②電源スイッチをON

③表示部に [ALLCLR] 表示されアナウンスすれば完了

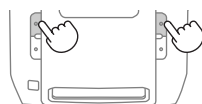
ディスプレイモード（販売店向け）

※シガーコード接続が必要です。

- 本機の一連の動きをデモンストレーションします。本機をディスプレイとして展示する場合等に設定を行って下さい。

設定方法 ※ディスプレイモード中の音量調整はできません。ディスプレイモード設定前に音量調整（P10）を行って下さい。調整した音量でディスプレイモードが作動します。

シガーコード接続して【ファンクション】、【アップ】スイッチを押しながら電源スイッチ（P10）をONにします。



①2個のスイッチを押しながら

②電源スイッチをONにする。
※【12V】または【SOLAR】
どちらでもできます。

③ディスプレイモードが始まります。

※再度同じ操作でディスプレイモード解除します。

機能

バス機能

- 無線警報（デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH、警察/消防ヘリテレ無線）を常時受信してしまう周波数のみをスイッチ操作で本体に登録し受信対象から外すことができます。一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態がつづく時などに使用して下さい。

※カーロケ、350.1MHz無線は設定（登録）できません。

登録方法

デジタル、署活系、ワイド、取締特小、レッカー、新救急、消防、JH、警察/消防ヘリテレ無線（カーロケ、350.1MHz無線除く）受信警報中に【T/M/B】スイッチを**長押し**します。「キャンセルしました」とアナウンスがあればキャンセル登録の完了です。



- ・登録できない場合（カーロケ、350.1MHz無線など）は「登録できません」とアナウンスし下記表示を行います。



- 解除するには・・・

本体をデータリセット（P29）することにより解除されます。

※本体をリセットすると設定した内容は工場出荷状態になります

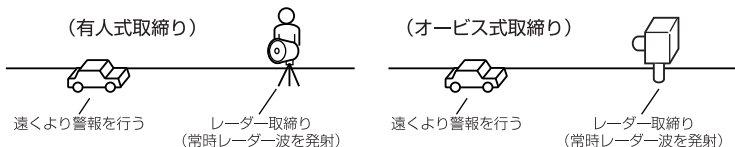
- ・P12/13設定でOFF設定した場合はキャンセル登録に関係なく警報は行いません。

レーダー式取締り

●代表的なレーダー式取締りについての説明。

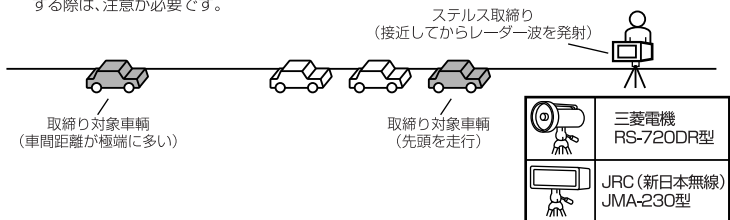
■レーダー式(本機で受信可能)

レーダー波を常時発射し、通過する車輛の速度を測定します。また、レーダー式オービスの場合には違反車輛を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信する事ができます。



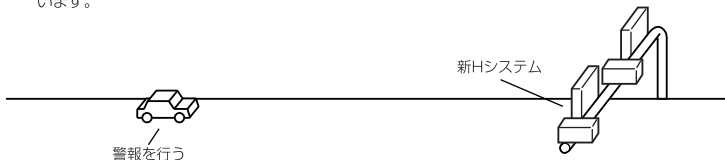
◆ステルス型

警察官がリモコンで装置をコントロールして電波を出します。至近距離まで取締り電波の発信を抑える“狙い撃ち”的方法ではレーダー受信機の反応は極端に遅れ70～100メートル地点(計測範囲内)でいきなり受信したり、また受信できないケースも想定されますので特に先頭を走行する際は、注意が必要です。



◆新Hシステム

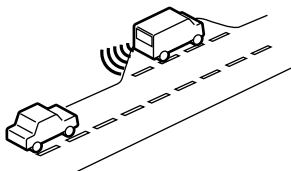
CCDカメラで違反車両のナンバー及び運転者を同時に撮影し専用回線を介して警察本部の大型コンピューターに送られます。受信距離は500m前後が一般的ですが電波の分布(間欠発信)の関係で連続音はやや遅くなります。本機はステルス・新Hシステムに対応できるように設計されています。



◆移動オービス式/パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車輛を取締り移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信する事ができます。

(注) 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。



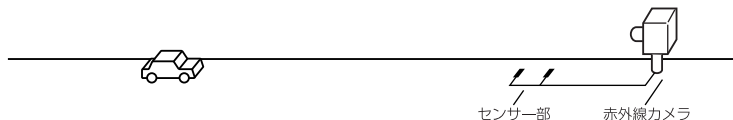
取締りの種類

レーダー式以外の取締り ※本製品では反応（警報）しません

●代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

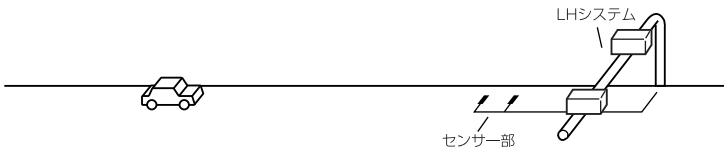
◆ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車輛の写真を撮影します。



◆LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

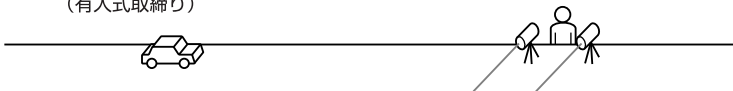
速度計測部がループコイル方式で、違反車輛の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。



◆光電管式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車輛を特定します。。

（有人式取締り）



◆追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車輛間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

故障かな？と思ったら

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチはオンになっていますか？ ●十分な充電がしてありますか？ ●LSC-V機能は正しく設定してありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 10ページ 6ページ 16ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量は正しく設定してありますか？ ●LSC-V機能が作動していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 11ページ 16ページ
レーダー警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●レーダー式以外の取締りではありませんか？ 	31/32ページ
無線を受信しない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車輛ですか？ ●各無線の設定はONになっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 19ページ 12/13ページ
LSC-V機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ●LSC-V機能は正しく設定してありますか？ 	16ページ
ASC-V機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ●ASC-V機能は正しく設定してありますか？ 	14/15ページ

製品仕様

◇レーダー本体

電源電圧	DC12V専用	受信周波数	
最小消費電流	10mA以下	・Xバンド（10.525GHz）	
最大消費電流	200mA	・Kバンド（24.200GHz）	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	・取締用連絡無線（350.1MHz帯）	
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式	・カーロケーターシステム（407MHz帯）	
動作温度範囲	-10℃～60℃	・デジタル無線（159MHz帯～160MHz帯）	
連続作動時間	100時間	・署活系無線（347MHz帯、361MHz帯）	
	（おまかせモード設定時で無警報状態）	・ワイド無線（336MHz帯～338MHz帯）	
本体サイズ	70（W）×106（L）	・警察ヘリテレ無線（340MHz帯～372MHz帯）	
	×28.5（H）／mm（突起部除く）	・消防ヘリテレ無線（382MHz帯～383MHz帯）	
重量	152g（充電電池含む）	・取締特小無線（422MHz帯）	
		・レッカー無線（154MHz帯、	
		465MHz帯～468MHz帯）	
		・新救急無線（371MHz帯）	
		・消防無線（466MHz帯）	
		・JH無線（383MHz帯）	

本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。予めご了承ください。

さくいん

	ページ数		ページ数
1/A		た	
12V連動モード	10	ディスプレイモード	29
350.1MHzの警報	20	デジタル無線の警報	20
ASC-V	14/15	テスト機能	11
JH無線の警報	24	データリセット	29
LSC-V	16	電源を入れる	10
LSCマーク	16	電波時計	26
SS-063	10	時計機能	25/26
SS-065	6	取締特小無線の警報	22
		取締の種類	31/32
あ		取締用連絡無線の警報	20
液晶表示画面について	7	取付け	8/9
音の設定	13		
オートセンシティブコントロール	14/15	は	
オートディマー	28	バッテリーチェック	11
オートパワーオフ	10	パトロールエリアの警報	24
オートボリュームダウン	28	付属品	5
おまかせ機能	27	ヘリテレ無線の警報	22
音量調整	11	保証	35
		ボリューム (音量)	11
か		ま	
カーロケーターの警報	19	ミュート表示	15
警告	2	無線警報の受信感度	18
警察ヘリテレの警報	22	名称	4/5
警報音の設定	13		
故障かな	33	ら	
梱包内容	5	リセット	29
		レーダー受信感度	14/15
さ		レッカー無線の警報	23
充電方法	6	ロースピードキャンセル	16
仕様	33	ローバッテリーサイン	6
使用上の注意	2/3		
消防ヘリテレの警報	22	わ	
消防無線の警報	23	ワイド無線の警報	21
署活系無線の警報	21		
新救急無線の警報	23		
振動センサーの設定/調整	16		
ソーラーモード	10		
設定のON/OFF	12/13		